

2022



2032

三
田

織
り
な
す
未
来
都
市

「さ
と
」
が
「ま
ち
」
「ひ
と
」



第5次 三田市総合計画

S A N D A C I T Y



三 田 市

8 いつまでも学び、活躍できるまちづくり

1. 10年後に目指したい将来像

子どもから高齢者、障害[※]のある方、外国人等すべての市民が学ぶ楽しさを享受し、学習成果を地域や社会で活かす機会が創出されています。高齢者は、今までに培ってきた知識や技能を発揮し、健康でいきいきと生涯現役で生きがいある生活を過ごせています。また、市民一人ひとりが自分に適したスポーツや運動を日常的に行い、心身共に健康に暮らしています。スポーツがもつ多面的な可能性を活かして、夢と元気があふれるまちになっています。

2. 10年後に心配される三田の状況

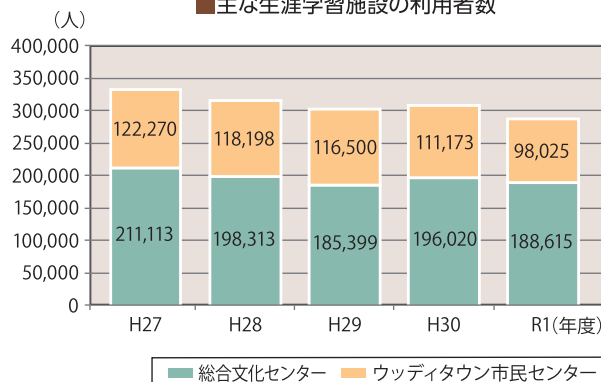
3. 10年後に目指したい三田の状況

取り組み

A	生涯学習施設 [※] の老朽化が進み、市民の学びを支える機能が失われていること	生涯学習施設が適切に管理、運営され、市民の感性を刺激し、学習意欲を高める施設となっていること	①
B	ライフステージに応じた学びやその成果をいかす機会がなく、市民の活力がそがれていること。また市民の学びの成果がまちづくりにいかされていないこと	ライフステージに応じた学びの機会が自己の成長や仲間づくりにつながっていること。また、学びの成果がまちづくりにもいかされ、活力のあふれたまちになっていること	②
C	仕事や趣味、生きがいをもつ高齢者が減少し、地域の活力の衰退が懸念されること	高齢者が今までに培ってきた知識や技能を発揮し、健康でいきいきとしながら、就労や地域活動を行い、生きがいのある生活を送れていること	③
D	スポーツ施設が老朽化し、競技に支障をきたすなど需要が満たないこと。運動意欲を喚起できず利用者が減少し、スポーツ実施者も減少していること	スポーツ施設が整い、プロスポーツや全国レベルの大会も開かれ、スポーツの意欲が喚起され競技レベルも向上し、またスポーツ実施者も増えていること	④
E	国際的なスポーツイベントが開催されたにもかかわらず、市民のスポーツ・運動への機運が低迷し、まちの活力が失われていること	多くの市民がスポーツを通じて交流することで活気があふれ、親しみやすいまちになり、それがまちの魅力となって発信されていること	⑤
F	スポーツ習慣のない高齢者や障害者が増えることで、要介護者の増加や孤立、関係の希薄化が進んでいること	共生社会実現への取り組みが進み、誰もが日頃からスポーツに親しみ、人と交流できる環境が整い健康寿命 [※] の向上につながっていること	⑥



■ 主な生涯学習施設の利用者数



※障害「障害」の漢字表記については12ページ参照

※生涯学習施設

市民の学習機会の提供や学習活動を支援する施設をいう。図書館、三田ふるさと学習館、有馬富士自然学習センター、市民センター等がある。

※健康寿命 46ページ参照

※シルバー人材センター

高齢者等の雇用の安定等に関する法律に基づき、知事の指定を受けた公益法人をいう。地域の高齢者が自分の体力・技能・希望に合った仕事をしていく中で、生きがいづくり、健康維持、社会参加を促進するとともに地域社会の活性化を目指している。

※ノルディック・ウォーキング 44ページ参照

※さんだ里山スマートシティ構想 32ページ参照

4. 取り組み

▶ 市民

- ◆市民センター等を活用しながら主体的に学び、創造する意欲をもって学習や創作活動に取り組みます。
- ◆学びの成果を地域活動やボランティア活動に生かし、地域の活性化等の社会貢献につなげます。
- ◆スポーツ・運動の必要性や有用性の理解を深めます。
- ◆スポーツクラブマネジメントや指導に必要な知識・技能を身に付け、スポーツをささえます。
- ◆スポーツするのが好きな人は積極的にスポーツし、苦手意識のある人は意識的に運動に取り組みます。

▶ 事業者・団体等

- ◆市民の学びや創作・表現活動に資する人材やプログラム、場、情報の提供に努めます。
- ◆従業員が地域活動を担う一員として学習に取り組むことができるよう支援します。
- ◆行政等と連携し積極的に地域のスポーツに関わります。
- ◆地域社会の一員として企業のノウハウを活かした事業活動を通じ、スポーツ・運動の日常化を支えます。
- ◆教室や競技大会により指導者・選手を育成します。

▶ 市

① 多様な学習機会の創出～学びの場の提供～

生涯学習の拠点機能をもつ図書館をはじめ、各生涯学習施設の特色を活かし、市民ニーズや地域課題の変化に応じた多様な学習機会を提供します。「**人づくり、地域づくり、まちづくり**」の拠点施設として市民センターの活性化を図ります。

② 多世代に学びの機会を提供～学びの自己実現から社会貢献へ～

生涯を通じての学びは、行政だけでなく高等教育機関との連携によるリカレント教育の拡充等により、子どもから学生、シニアまでの多世代に学びの機会や交流の場を提供します。地域人材や教育機関、企業等との連携により市民の活躍の場を創出し、市民力を生かせる仕組みづくりを進めます。

③ シニアの新たな楽しみの発見！～シニアの活躍支援～

シニアが生涯学習を通じて仲間づくりや地域貢献につながるような機会を提供します。新たな楽しみの発見、生きがいや社会参加につなげるためにいきがい応援プラザ等のセミナーで「先生デビュー」を支援します。シルバー人材センター[※]やハローワークとの連携を推進し、情報提供やセミナーによる就労支援を行います。

④ スポーツで未来(あした)が変わる！～子どもに夢を！～

スポーツ・運動を「する」「みる」「ささえる」機会を提供します。城山公園や駒ヶ谷運動公園のスポーツ施設の再整備を進め、プロのスポーツ大会等を誘致しスポーツ観戦の機会提供やスポーツ「夢」プロジェクトを強化し子どもたちと選手との交流を進めます。スポーツ・運動をささえる指導者やボランティアの育成を支援します。

⑤ スポーツで貴方(あなた)が変わる！～生涯スポーツの推進～

スポーツ・運動に関する情報を市広報・SNS等で継続的に提供し、興味や関心をもった人が生涯にわたって実践できるよう働きかけます。ノルディック・ウォーキング[※]等でスポーツ・運動習慣の定着を推進し、さんだ里山スマートシティ構想[※]と連動して三田の魅力を活かして健康でいきいきとしたまちづくりに取り組みます。

⑥ 学びやスポーツを通じた共生のまちづくり～多様性と調和・未来への継承～

年齢や障害の有無等に関わらず誰もが参加できる学びやスポーツ活動を通じ共生まちづくりを進めます。障害者のスポーツの普及や様々な機会を通じた交流を進めるとともに、健常者の理解を深め、認知度を向上させます。高齢者や外国人も参加しやすい講座等を行い、学びやスポーツに親しむ機会を提供し、バリアフリーの施設整備にも取り組みます。

5. 成果指標等

指標名	基準値	基準年	目標値(R8)
当該年度に図書館に来館した延べ人数	625,777人	(R元)	700,000人
市民が参加できるスポーツイベント件数	152件	(R元)	180件
週1回以上運動・スポーツをしている人の割合	43.9%	(R2)	50.0%

■ 主要な条例・規則及び関連計画

条例・規則	三田市生涯学習審議会条例、三田市立図書館条例、三田市スポーツ推進審議会条例
関連計画	三田市教育振興基本計画、三田市スポーツ推進基本計画、三田市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画